

評価委員意見等

【資料⑤】

項目	ご意見		当院の現状
① 急性期医療への対応			
救急受入の 拡充	岩瀬 委員	小児の救急対応は、近隣病院との輪番体制としている。当番でない日に搬送依頼があった場合でも、一律のお断りはしない。	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の救急対応については、令和元年7月から小児科常勤医師が不在となったことにより、受入を休止している。 ・お断りの増については、小児科・精神疾患等の増加が要因。 ・受入可能な症例等を消防署へ周知し、消防隊員との情報共有を図る。 ・お断りの翌日検証を実施。 ・定期的に、診療科別症例検討会を開催。【救急隊員、救急部長、研修医】
	岩瀬 委員	救急車のお断りをした場合は、理由書を提出してもらおう。看護師と医師が状況やお断り理由を記載し、救命センター長や院長等がコメントを記載する、書くのが面倒だと思わせる様式になっている。	
	松浦 委員	救急車の対応は原則上級医が診ることになっているが、診ない場合は理由書を提出してもらおう。ひどい場合は、院長が直接指導する。	
	岩瀬 委員	救急車のお断りについては、患者さんが重なったなどの理由であっても、しょうがないではなく、どうすれば良いかを考えるべき。	
② 患者の状態に応じた医療の提供			
小児・周産 期	伊関 委員	小児科常勤医師の確保が難しい状況であり、センター化もやむを得ないと考える。	・常勤医師の確保については、現状においては厳しい状況。
③ 医療従事者の確保・育成			
医療従事者 の 確保	岩瀬 委員	看護師の不足については、看護師長が常に笑顔であるなど、働きたいと思わせる環境作りが大切。	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・周産期の休止の影響による退職もあり、看護師は不足している状況。現状のままでは、各病棟の看護配置基準を満たすことが困難となることも想定される。 ・来年4月に採用を予定している看護師に加え、現在、追加募集を行っているところ。 ・看護師修学資金制度の有効活用を予定。
	岩瀬 委員	看護師不足の対策として、非常勤の短い時間での募集などを検討しては。	
	伊関 委員	若い看護師の確保のため、初任給調整手当を支給している病院がある。	
	伊関 委員	アメニティを充実するなどし、確保に努めている病院がある。	
働き方改革	松浦 委員	電子カルテの更新に伴い、2月から電子データで集計できる出退勤管理を実施する。	・職員の出退勤管理については、現在パソコンのログ記録としているが、集計等の作業が必要なため、単純なシステムの導入に向けて準備・検討中。
	松浦 委員	医師の人事考課は、業績評価と人物評価の2本立てで評価している。業績の評価項目は院長と各診療科とで設定しており、人物評価は他部署の職員が評価をしている。	・働き方改革への対応を踏まえた、人事評価の充実を目指していく。
	松浦 委員	医師の人事考課の評価に、必須となる会議への出席状況を加えたところ、出席率が30%から70%へ上昇した。	
職員満足度	松浦 委員	職員満足度調査で問題が見つかった場合は、調査結果を上手に活用し、問題解決に役立てる。	・今年度、職員やりがい度調査を実施。(結果集計中)
手当	伊関 委員	中間評価の進捗で、手当の見直しが芳しくない。働き方改革と併せて検討していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・手当見直しプロジェクトチームを設置。 ・働き方改革に併せて、手当の見直しを検討していく。
④ 経営の効率化			
交付金・補助 金	伊関 委員	許可病床の減少に伴う交付金や、補助金を有効に活用するべき。	・国・県から発信される情報の収集に努め、有効に活用していく。
経営形態	伊関 委員	指定管理制度を活用しても、辞めずに市役所に残ってしまう医療職員がいたりするなど、あまり経済的効果は得られないケースが多い。	・経営形態の見直しについて、平成29年度に必要性・現実性を検討した結果、当面の間見直しの必要は無いと判断した。